

1934 Endometriosis of thorax 資料

子宮内膜症のうち、異所性に発生するものについては適齢期女性の 5～15%に認められると報告されている。このうち、胸郭内子宮内膜症は適齢期女性の 2%に見られるとされ、気管支、肺実質、胸膜、横隔膜、縦隔臓器など至る所に存在するものの、その 80%は胸膜及び横隔膜に存在する。

胸膜・横隔膜に発生した場合、月経随伴性気胸を来すことが多く、わが国では同症の 50%が子宮内膜症病変によるものとされている。

子宮内膜症は N80._に分類されており、

- N80.0 子宮の子宮内膜症
- N80.1 卵巣の子宮内膜症
- N80.2 卵管の子宮内膜症
- N80.3 骨盤腹膜の子宮内膜症
- N80.4 直腸腔中隔及び腔の子宮内膜症
- N80.5 腸の子宮内膜症
- N80.6 皮膚瘢痕における子宮内膜症
- N80.8 その他の子宮内膜症
- N80.9 子宮内膜症，詳細不明

気胸・血胸という重篤な状況を引き起こす胸郭内子宮内膜症として独立した分類を行うことで、関連を明確にすることができるため、疫学的データを添えて、再提案することとしたい。

(尿管の子宮内膜症との頻度が問題になると考えられる)

【提案】新設

N80.7 胸郭内子宮内膜症 Endometriosis of thorax

Olive DL, Schwartz LB. Endometriosis. N Engl J Med 1993;328:1759-69

伴場次郎ほか.月経随伴性気胸の分類と診断基準.日胸疾会誌,1983;21:1196-1200

Jubanyik KJ, Comite F. Extrapelvic endometriosis. Obstet Gynecol Clin North Am 1997; 24:411

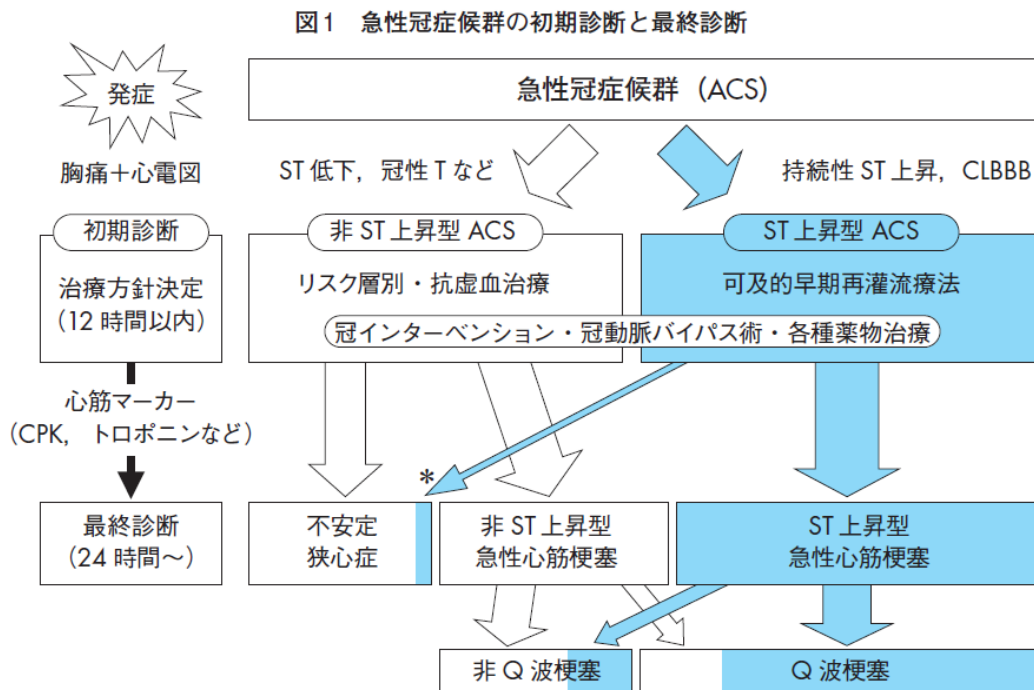
1935 non-ST elevation myocardial infarction

非 ST 上昇型心筋梗塞

- I21.0 前壁の急性貫壁心筋梗塞
- I21.1 下壁の急性貫壁心筋梗塞
- I21.2 その他の部位の急性貫壁心筋梗塞
- I21.3 急性貫壁心筋梗塞、部位不明
- I21.4 急性心内膜下心筋梗塞
- I21.9 急性心筋梗塞、詳細不明

I21.4 急性心内膜下心筋梗塞
 非貫壁性心筋梗塞 NOS
 非 ST 上昇型心筋梗塞

Q 波を伴わない心筋梗塞 (Non Q MI) と Q 波を伴う MI (QwMI) との鑑別等が問題となり、昨年度は合意に至らなかった提案であるが、I21.4 に包含する形での提案としたい。なお、図 1 を添付して、その病態を明確とする。



(本ガイドラインで扱う範囲を青で示す、* 治療・自然経過で心筋梗塞に至らない場合)

題名	提案の型	第一に影響を受けるコード	第二に影響を受けるコード	影響を受ける巻			変更理由	詳細な記述	変更が必要なロジック(散文記載)	文献
				内容例示	総論	索引				
1 Takotsubo cardiomyopathy, Apical ballooning cardiomyopathy	#3	I42.8 もしくは I51.8	-	●		● #8	より詳細にあるいは反対に一般的にするなど詳細さのレベルを変える必要があるから	たこつぼ型心筋症の適切な分類がない	医師からは拡張型か閉塞性の肥大型のいずれも否定、強いて選択するなら拡張型に入れるしか、とのことで、本院では「I42.0」を使用 心筋の一過性の機能低下であり、心筋症の範疇にふくめるべきではなく、独立した心筋の機能障害の概念を設定すべきと思われる 心筋症という日本語病名が混乱しているともいえるのではないか(あるいは狭心症のほうに分類をしないかと思えます)	あり
2 子宮平滑筋腫	#7	D25 新規にD25.3を追加 D25.3 D25.0からD25.2の複数の領域に存在するもの	-	●		#6	内容例示をより明確にするあるいは曖昧さをなくす必要があるから	子宮筋腫の筋腫自体が大きく、粘膜下・壁内・漿膜下・詳細不明に分類されるが、またがるものや境界領域の場合が存在するため、明確な分類は困難 せめて境界型が領域をまたぐ場合のコーディング対応方法を明示すべきではないか	-	あり
3 Potter sequence	#4	P60.6		●		#2	医療知識の変更を反映する必要があるため	Potter's syndromeの項に、より広義であるPotter sequenceを追加する。	-	あり
4 convulsion associated with gastro-enteritis	#4	R56.8		●		● #7	検索用語を追加、削除または修正する必要があるから	convulsion associated with gastro-enteritis(腸炎関連痙攣)を追加	-	あり
5 スポーツによる消耗	#1	T73	M86.9	●		● #2	医療知識の変更を反映する必要があるため	T73.3働き過ぎによる消耗 過労<overexertion>の次に、T73.4スポーツによる消耗 過労<overuse>を設ける。そして、具体的な例として、shin splints過労性骨膜炎を加える。	世界各国におけるスポーツ医学の発展に伴い、スポーツによるoveruseに起因する病態が次々に明らかになってきたため、スポーツによる過労性障害の概念を分類上に明記すべきである。たとえば、Shin splintsは過労性脛部痛(臨床スポーツ医学用語集)あるいは過労性骨膜炎と表されるが、適切な分類箇所がなく、M86.9骨髄炎の詳細不明の「骨髄炎の記載のない骨膜炎」とすることが多いが、実際には骨髄炎とは全く異なる疾患である。	あり

提案の型Proposal Type(どれか一つを選ぶ)

#1	新しいコードの追加	Addition of new code
#2	コードの削除	Deletion of code
#3	コードの他カテゴリー(3桁分類項目または中間分類項目)または章への移動	Movement of a code to another category or chapter
#4	索引への新たな用語の追加	Introduction of a new term into the index
#5	既存の索引用語の変更で、ある3桁分類項目から別の3桁分類項目への割当コードの変更を伴うもの(用語の移動)	Change to an existing index entry that changes the code assignment from one three-character category to another three-character category (movement of terms)
#6	既存の索引用語の修正または明確化で、同じ3桁分類項目内での割当コードの変更に至るもの	Correction or clarification of existing index entry that only changes the code assignment to a code within the same three-character category
#7	内容例示の充実(包含、除外用語の追加など)	Enhancements to the tabular list (such as the addition of an inclusion term to an existing code; the addition of an exclusion note)
#8	コード説明(注など)を疾病概念を変えない範囲で変更	Change to a code description that enhances the description rather than changes the concept
#9	索引の充実(既存の索引用語を他の用語の下にもぶら下げて再提示するなど)	Enhancements to the index (such as the duplication of an existing index entry under another main term)
#10	疾病・死因データ収集規準に影響するルールまたはガイドラインの変更	Change to a rule or guideline that affects the integrity of morbidity or mortality data collections
#11	疾病・死因データ収集規準には影響しないルールまたはガイドラインの変更	Change to a rule or guideline that does not affect the integrity of morbidity or mortality data collections
#12	誤字・脱字等の修正	Correction of a typographical error
#13	出版物の修正には至らない明確化	Clarification that does not require change in the volumes

変更理由Change Reason(どれか一つを選ぶ)

#1	新しい疾患を同定する必要があるため	Need to identify a new disease
#2	医療知識の変更を反映する必要があるため	Need to reflect a change in clinical knowledge
#3	医療用語の変更を反映する必要があるため	Need to reflect a change in clinical terminology
#4	他のファミリー分類との整合性を保つ必要があるから	Need for compatibility within the WHO Family of Classifications
#5	ルール、ガイドラインまたは取り決めの変更による	Change in rules, guidelines or conventions
#6	内容例示をより明確にするあるいは曖昧さをなくす必要があるから	Need to improve clarity or reduce ambiguity in the tabular list
#7	索引用語を追加、削除または修正する必要があるから	Need to create, delete or correct an index entry
#8	より詳細にあるいは反対に一般的にするなど詳細さのレベルを変える必要があるから	Need for greater or less specificity
#9	誤字・脱字等の修正	Need to correct typographical errors